

しあわせ メッセージ
幸福の手紙 審査総評

- No.25、大変な自閉症の子育てだが、園長先生をはじめ、先生方はサポートがあり、育児を楽しんでいきたいという気持ちになれたことは素晴らしいと思います。留学生が書いたと思われる文章は、素直な気持ちが書かれていて、選ぶことに困難をきたしました。その中で、No.27の「サンキュー」いい言葉ですね。No.32、No.40日本にきた時は大変でしたね。校長先生の温かいさが伝わってきます。No.66「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」日本の良い言葉をよく選んでくれたと思います。No.45、No.56子供はちゃんと親の後姿を見ています。子供たちの温かさを感じます。No.108良い友達に出会えましたね。No.126「自分らしさを」顧問の先生が引き出してくれました。No.148「パニック障害」と向き合って自分らしく生きて下さい。その他、残念だったのはNo.38、No.58、No.118です。
- ^{しあわせ}幸福の手紙も11回目となり、国際的に多様な応募が増えたことに加え、日本出身の方についても、それぞれの価値観や視点が多様になって来ていると思います。審査基準も見直しの時期に来ているかもしれません。全体的に主旨に合ったものの中でも、とても良く書かれているものが多く、選定に苦勞致しました。
- 感動した言葉や人生の支えとなる言葉は、それぞれの立場や体験等により、感じ方、^{しあわせ}とらえ方も違いますが、幸福を感じる「有難う」の感謝の心が、多くの作品で見受けられ、読みとることができました。偉人や著名の言葉から家族、友人等迄、各々の立場で幅広く感動し、支えとなる言葉を感じ得ることができ、仕事の支え、将来へのやり甲斐いや生き方となる言葉を強く感じ、読みとることができました。10点に絞り、選ぶことが大変でした。皆さんの素晴らしい作品に出会うことができたことに感謝します。有難うございます。
- 今回のテーマ「感動する(した)言葉」に寄せられた皆さんからの手紙を拝見し、言葉の影響力を強く感じました。苦悩している時、人生の岐路に立った時、嬉しい時、楽しい時、どんな場面においても誰かに投げかけられた言葉に救われ、勇気づけられ、生きる力になるということを、手紙の中から感じました(哲学的な内容の手紙も多かったように思います)誰にかけられた言葉なのか、また、タイミング等によって、相手の人生に大きな影響を与えるということを対人援助を生業とする社会福祉職に携わる私たちは、再考すべきである、と、^{メッセージ}今回の手紙から教えて頂いたように思います。
- いつのまにか、タイトルの「感動する(した)言葉」ではなく、「好きな言葉」や「思い出の言葉」の内容になっているのが気になりました。人生の中で心に残った言葉をも^{しあわせ}とに幸福の手紙がつづられているのでしょうか、、、
- 自分以外が第三者のために仕事をするという、謙虚で慎しい思いと感謝の気持ちがいずれも真摯に伝わってきます。